

船舶電気関係記事年表(昭和45～49年)

(雑誌「船舶」、「船の科学」より)

西暦(和暦)	電気関係 論文・解説記事など	著 者	備 考
1970-2「船の科学」 VOL.23 NO.2 (昭和45年2月)	・連絡船のメモ(22) 第6編 電源装置(1)	鉄道技術研究所 泉 益生	
1970-3「船の科学」 VOL.23 NO.3 (昭和45年3月)	・連絡船のメモ(23) 第6編 電源装置(2) ・[技術短信] 桑畑電機、村山電機、布谷船用計器 3社がM/Oグループ設立	鉄道技術研究所 泉 益生	
1970-4「船舶」 VOL.43 NO.4 (昭和45年4月)	・日本海事協会 昭和44年版鋼船規則第38編 自動制御及び遠隔制御の解説 ・(製品紹介)MO船にEシリーズ電子式自動平衡計	日本海事協会 千野製作所	
1970-4「船の科学」 VOL.23 NO.4 (昭和45年4月)	・「船舶の高度集中制御方式 システムの基本設計」 の概要 ・連絡船のメモ(24) 第6編 電源装置(3)	運輸省船舶局 技術課 鉄道技術研究所 泉 益生	
1970-6「船の科学」 VOL.23 NO.6 (昭和45年6月)	・連絡船のメモ(26) 第6編 電源装置(5) ・光電製作所で新しく開発されたオメガ受信装置 ・[新製品紹介] マルチペン方式のシンクロソナー SRM-673	鉄道技研研究所 泉 益生 光電製作所 光電製作所	
1970-7「船の科学」 VOL.23 NO.7 (昭和45年7月)	・連絡船のメモ(27) 第7編 ヒーリング装置(1) ・日立製作所巨大船用暗礁探知ソナー試作機 完成 ・タンカー向け防爆形音響測深機用送受波器タンク	鉄道技研研究所 泉 益生 日立製作所 海上電機	
1970-8「船舶」 VOL.43 NO.8 (昭和45年8月)	・(製品紹介)海上電機の音響測深機用耐圧防爆型 送受波器タンク	海上電機	タンカーの危険場所近くに装備可 能なものを開発
1970-8「船の科学」 VOL.23 NO.8 (昭和45年8月)	・自動化船 MV "UNION SUNRISE" ・連絡船のメモ(28) 第7編 ヒーリング装置(2)	China Union Lines Ltd. 呉剣琴 鉄道技研研究所 泉 益生	台湾の船、IHIで建造 機関部無人化採用
1970-9「船の科学」 VOL.23 NO.9 (昭和45年9月)	・連絡船のメモ(29) 第7編 ヒーリング装置(3)	鉄道技術研究所 泉 益生	
1970-10「船舶」 VOL.43 NO.10 (昭和45年10月)	・タンデム配置機関による発電装置の制御方式 (ウッドワード2301電気ガバナを用いて)	黒田義治 (ウッドワードガバナ 社 日本支社)	
1970-10「船の科学」 VOL.23 NO.10 (昭和45年10月)	・世界初の超自動化船"星光丸"について ・連絡船のメモ(30) 第7編 ヒーリング装置(4) ・大洋電機「船用発電機自動化装置」を開発 ・石川島播磨・神鋼電機 レーダ、通信電源用小型 ガス・タービン発電機装置完成(45KW)	三光汽船 石川島播磨重工 鉄道技術研究所 泉 益生	
1970-11「船舶」 VOL.43 NO.11 (昭和45年11月)	・最新護衛艦の電装設計 ・船用タービン発電機の調速機の動作特性について ・オメガ航法(電波の位相を使う航法システム)	越塚高明、弓削正武 (防衛庁技術本部) 糸井宇生 (川崎重工業) 古谷俊雄 (光電製作所)	
1970-11「船の科学」 VOL.23 NO.11 (昭和45年11月)	・鉱石運搬船新幡丸にわが国初のミニ・コンピュータ による監視システムを搭載 ・連絡船のメモ(31) 第7編 ヒーリング装置(5)	日立造船 鉄道技術研究所 泉 益生	
1970-12「船舶」 VOL.43 NO.12 (昭和45年12月)	・1.2KW複信方式SSB無線装置について ・(製品紹介)千野製作所の新製品サーモマックス (Nシリーズ) ・(写真解説)大型鉱石運搬船"新幡丸"とミニコンピータ (山下新日本)	石合諒一 (協立電波) 千野製作所 日立造船	

1970-12「船の科学」 VOL.23 NO.12 (昭和45年12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和45年度 高度集中制御化船舶の試設計作成方針 ・船舶の高度集中制御方式に関する総合研究開発の概要 ・超自動化船の建造状況(予定を含む) ・連絡船のメモ(32) 第7編 ヒーリング装置(6) ・[製品紹介] 三信ボイスアラーム(音声警報装置) ・[製品紹介] 山武ハネウエル 船位測定装置 RS-5/RS-505型 	<p>運輸省船舶局</p> <p>運輸省船舶局</p> <p>運輸省船舶局</p> <p>鉄道技術研究所 泉 益生 三信電具</p> <p>山武ハネウエル</p>	海底のビーコンによる測位方式
1971-1「船舶」 VOL.44 NO.1 (昭和46年1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・機関無人化タービン船”十和田丸” 	三菱重工 長崎	
1971-1「船の科学」 VOL.24 NO.1 (昭和46年1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動化船”星光丸”とその実績 ー特に自動荷役制御について ・コンピュータ自動化船「新幡丸」について ・連絡船のメモ(33) 第7編 ヒーリング装置(7) 	<p>石川島播磨 船舶事業部 日立造船 因島</p> <p>鉄道技術研究所 泉 益生</p>	
1971-2「船舶」 VOL.44 NO.2 (昭和46年2月)	<ul style="list-style-type: none"> ・永久ヒューズ付しゃ断器 	山本啓一 (三菱電機 福山)	
1971-2「船の科学」 VOL.24 NO.2 (昭和46年2月)	<ul style="list-style-type: none"> ・世界最大のコンピュータ制御による超自動化ディーゼル・タンカー 三峰山丸(227,756 DWT) ・連絡船のメモ(34) 第7編 ヒーリング装置(8) 	<p>三井造船</p> <p>鉄道技術研究所 泉 益生</p>	
1971-3「船舶」 VOL.44 NO.3 (昭和46年3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・(写真解説)世界最大のコンピュータ制御による自動化ディーゼルタンカー 三峰山丸 	三井造船 千葉	
1971-3「船の科学」 VOL.24 NO.3 (昭和46年3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・高自動化タンカー 十和田丸 並びに高瀬丸について ・連絡船のメモ(35) 第7編 ヒーリング装置(9) 	<p>三菱重工 長崎</p> <p>鉄道技術研究所 泉 益生</p>	
1971-4「船舶」 VOL.44 NO.4 (昭和46年4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・超自動化ディーゼルタンカー 三峰山丸について ・航行衛星システムNNSSとその測位精度 	<p>三井造船 千葉</p> <p>木村小一 (電子航法研究所)</p>	
1971-4「船の科学」 VOL.24 NO.4 (昭和46年4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ制御による超自動化ディーゼル・タンカー三峰山丸について ・連絡船のメモ(36) 第7編 ヒーリング装置(10) ・古野電気 コンピュータ導入の自動航跡連続記録装置 (LR-3T型) ・[新刊紹介] 超自動化船とコンピュータ 	<p>三井造船 千葉</p> <p>鉄道技術研究所 泉 益生 古野電気</p> <p>徳田迪夫 上田一郎</p>	
1971-5「船の科学」 VOL.24 NO.5 (昭和46年5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡船のメモ(37) 第7編 ヒーリング装置(11) 	鉄道技術研究所 泉 益生	
1971-6「船舶」 VOL.44 NO.6 (昭和46年6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・超自動化船 星光丸の実績について 	小松三郎 (三光汽船)	
1971-6「船の科学」 VOL.24 NO.6 (昭和46年6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡船のメモ(38) 第7編 ヒーリング装置(12) 	鉄道技術研究所 泉 益生	
1971-7「船の科学」 VOL.24 NO.7 (昭和46年7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡船のメモ(39) 第7編 ヒーリング装置(13) ・船舶の高度集中制御方式(超自動化)の研究開発の概要 ・コックサム製ロード・マスター・コンピュータ 	<p>鉄道技術研究所 泉 益生</p> <p>運輸省船舶局 小原磯則 チェリベルジ 船用機械課</p>	
1971-8「船の科学」 VOL.24 NO.8 (昭和46年8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡船のメモ(40) 第7編 ヒーリング装置(14) ・昭和海運向超自動化大型タンカーを起工 ・船用サイリスター・インバータについて ・MO化に結びつくパルス軸馬力計と機関関係トータル計測システムについて 	<p>鉄道技術研究所 泉 益生 日本鋼管</p> <p>日本車輛</p> <p>古野電気</p>	

1971-9「船の科学」 VOL.24 NO.9 (昭和46年9月)	・連絡船のメモ(41) 第7編 ヒーリング装置(15) ・国産初の本質安全防爆(IS)自動制御システム およびNVAアクチュエータを開発	鉄道技術研究所 泉 益生 住友精密工業	
1971-10「船の科学」 VOL.24 NO.10 (昭和46年10月)	・連絡船のメモ(42) 第7編 ヒーリング装置(16) ・SULZER RND 機関搭載船 AVON BRIDGE 号における排ガス利用ターボ発電プラントについて ・[新製品紹介] わが国初の入渠・航法に対地速度情報を提供するフルノ・ドップラーソナー	鉄道技術研究所 泉 益生 住友重機 大槻 昭 古野電気	
1971-11「船の科学」 VOL.24 NO.11 (昭和46年11月)	・レーダと併用するプロットング追跡装置 ・YSH委員会でミニ・コンピュータによる機関部自動化システムを完成 ・連絡船のメモ(43) 第7編 ヒーリング装置(17) ・気筒内最高圧測定装置 ・沖電気・日本鋼管・昭和海運三社共同研究の”船舶自動化システム”完成 ・大型長距離カーフェリー用配電盤について、船用大型発電機2, 125KVA完成	協立電波 山下新日本汽船 日立造船 鉄道技術研究所 泉 益生 東京計器 沖電気、日本鋼管 昭和海運 大洋電機	錦江丸(259,000DWT)に採用 昭和47年2月竣工
1971-12「船の科学」 VOL.24 NO.12 (昭和46年12月)	・連絡船のメモ(44) 第7編 ヒーリング装置(18)	鉄道技術研究所 泉 益生	
1972-1「船の科学」 VOL.25 NO.1 (昭和47年1月)	・スルザーRNDディーゼル主機用電子式遠隔操縦装置 ・オメガ航法用受信機 NR-1005 を実用化 ・全ソリッドステート式7吋小型レーダ FRA-10 MARK II 型 開発	石川島播磨重工 佐藤純夫 沖電気 古野電気	
1972-2「船の科学」 VOL.25 NO.2 (昭和47年2月)	・米国周辺の指定海域における「船間直接VHF無線電話通信連絡の実施」について	協立電波 石合諒一	
1972-3「船の科学」 VOL.25 NO.3 (昭和47年3月)	[技術短信] 古野電気マリン・エレクトロニクスの最優秀商品メーカーとして表彰される		1971年度 全米船用電子機器協会により表彰された。
1972-4「船の科学」 VOL.25 NO.4 (昭和47年4月)	・船舶の高度集中制御方式(超自動化)の研究開発の概要 ・計画造船最大の自動化タンカー”錦江丸”完成 ・[技術短信] 超自動化鉱石兼油運搬船”大津川丸”進水およびコンピュータ・システムの概要	運輸省船舶局 小林 修 日本鋼管 川崎重工業	
1972-6「船の科学」 VOL.25 NO.6 (昭和47年6月)	・タービン・タンカー”鳥取丸”の超自動システム ・[技術短信] 26MHz帯・27MHz帯を1台にまとめた出力1Wの新型トランジスタ無線機発売	三菱重工業 長崎造船所 古野電気	
1972-10「船の科学」 VOL.25 NO.10 (昭和47年10月)	・鉱石兼油”大津川丸” --- コンピュータ集中制御システムについて	川崎重工業	
1972-11「船の科学」 VOL.25 NO.11 (昭和47年11月)	・超自動化タービン・タンカー”鳥取丸”について	三菱重工業 長崎造船所	
1972-12「船の科学」 VOL.25 NO.12 (昭和47年12月)	・無人艇を使用した海洋調査システムを開発	古野電気	
1973-2「船の科学」 VOL.26 NO.2 (昭和48年2月)	・石川島播磨重工業 自動航行システムでノルウェーノルアトム・ノルコントロール社と提携 ・石川島播磨重工業 船用自動化システムの展示	石川島播磨重工業 石川島播磨重工業	
1973-7「船の科学」 VOL.26 NO.7 (昭和48年7月)	・香取丸にコンピュータ利用による航法の自動化システムの採用	住友重機械工業	
1973-9「船の科学」 VOL.26 NO.9 (昭和48年9月)	・[英国船舶機器特集] 英国の船用電子機器について ・撤積貨物船 香取丸 --- コンピュータ利用による航法自動化システム ・英国 Bailey Marine Electronics Control System --- BAILETRONIC 370 ---	William Maconachie 住友重機械工業 日商岩井 吉田伏見男	

1973-11「船の科学」 VOL.26 NO.11 (昭和48年11月)	・28万トン型VLCC"THORSAGA"ノズルプロ ペラ、コンピュータシステム装備 ・[技術短信] 大洋電機株式会社創立30周年披露	三井造船 千葉 大洋電機	
1974-2「船の科学」 VOL.27 NO.2 (昭和49年2月)	・三菱テレ・コントロールシステムの応用 ・衛星航法受信システム(NNSS)－FSN－10型 の開発	三菱重工業 船舶事業本部 古野電気	バルブの遠隔制御システム
1974-6「船の科学」 VOL.27 NO.6 (昭和49年6月)	・超自動化シミュレータの研究開発について ・全天候型船用5cm波レーダを開発	運輸省船舶局 小崎文雄 古野電気	
1974-7「船の科学」 VOL.27 NO.7 (昭和49年7月)	・[製品紹介] 船舶用新型SSB無線送受信機の 3機種発表 ・[技術短信] 制御システムの開発ならびに多目的 船舶シミュレータシステムの開発	古野電気 三菱重工業	
1974-10「船の科学」 VOL.27 NO.10 (昭和49年10月)	・[製品紹介] 新型魚群探知機 全周型スキャンニ ングソーナを開発 ・[製品紹介] 荷役コントロールシステム "SEAMATE40"を開発 ・機関部タービンプラントの総合自動化シミュレータ が完成	古野電気 石川島播磨重工業 日立造船	
1974-12「船の科学」 VOL.27 NO.12 (昭和49年12月)	・[製品紹介] 衛星航法システム PYXIS-7	山武ハネウエル	

[メモ]

1. 船舶の高度集中制御方式(超自動化船)に関する記事が多い。
2. ミニ・コンピュータを搭載した超自動化船の紹介記事が多く見られる。(三光汽船 星光丸、山下新日本汽船 新幡丸、商船三井 三峰山丸、川崎汽船 大津川丸、日本郵船 鳥取丸、昭和海運 錦江丸など)
3. 衛星航法システム(NNSS)が出現し、高い測位精度を示し注目された。
4. 同じ時期に、8局で全世界をカバーできると言われた測位システム「オメガ」が実用化され、その紹介記事がみられる。
5. 連絡船のメモ という記事が連載されている。連絡船に新しいシステムや装置を意欲的に搭載して試行していた様子が窺える。連絡船が新しい機器を船舶に導入した実績、成果については改めて評価すべきと思う。